コロナウイルスの影響で、学校はどう変わるのか。

PTA会長 ＋ 校長先生 zoom 対談

鈴木校長　初めてのZOOM対談でしたが大丈夫だったでしょうか？

松井PTA会長　校長先生と深い所までお話できよい時間でした。

校長先生
鈴木一郎

新型コロナウイルス感染予防のため、子ども達は勿論、令和2年度のPTA活動も始められない状況です。

そこで新たな取り組みとして、今回ZOOMを活用しまして今年度のPTA会長と校長先生にコロナウイルスの影響による今後の学校生をテーマとして対談を行っていただきました。

その内容を掲載いたします。

PTA会長
この度、PTA会長をさせていただくことになりました松井です。
どうぞよろしくお願いいたします。
今年度開始から新型コロナウイルスの蔓延により学校が休校となり、保護者の皆様も大変困惑されていらっしゃることと思います。
休校中の子供たちにおいても、各家庭の事情などもありまして、今までの生活とは変化せざるを得ない部分も多々あったと思いますが、どうでしょうか？

鈴木校長
この度のコロナウィルスによる緊急事態宣言下における休校につきましては、父兄の皆様の多大なるご協力、ご理解をいただきまして心より感謝いたします。
休校中におきましては、環境が変わったことに対しての子供たちの心のケアを含め、インターネットを利用した学習支援や課題の提出、生活アンケート、また父兄の皆様からのさまざまなご相談などをお受けしながら現在に至っております。

PTA会長
この度、国からの緊急事態宣言解除は出されましたが通常の学校生活に、戻れるのはまだまだ先で、戻れたとしても今までとは異なる部分も多々あると思いますが校長先生いかがでしょうか？
今後の学校生活に対する思いなどをお聞かせいただけませんか。

鈴木校長
今後の予定としましては、この度発表されました県及び市からのガイドラインに準じ、6月1日から分散して登校を実施し、6月15日から授業を開始します。
また、再開に先立ちまして休校中における家庭での生活についてのアンケートを実施させて頂きました。
その結果「起床時間」では、7時前起床が25%、7～8時起床が45%、
「学習時間」は1～3時間が、65%でした。
また「学校が始まることで心配がある」は29%でした。
その主な心配は、学習や体力についてです。
この結果を見る限りでは、多くの生徒がスケジュールを決めて、やるべきことを行って生活できていたようです。
しかし、50分の授業を6時間と様々な活動をしていた学校生活に戻ることを考えると、どの生徒も肉体的、精神的にかなり負荷がかかるものと思われます。
そこで、半日の学校生活を約2週間続けることで、生活リズムを整えていきます。
また、朝運動の時間を設け、体を慣らしていきます。
生活アンケートに基づいた個別懇談を実施し、各々の自己目標の確認と心のケアを図っていきます。
作業的な活動を取り入れ、集中が持続するように取り組みを進めていきたいとも思います。

PTA会長
学校生活において、コロナの前と後ではどのように変っていくのでしょうか。

鈴木校長
これから生徒たちは「with コロナ」、コロナと共に生活していくことになります。特に3密を回避した行動、身体的な距離の保を意味したソーシャルディタンス（社会的距離）の生です。
すでに世の中では、行動様式が変わり、価値観が根本的に変わってきているように思えます。
例えばこれまで大きな声で挨拶することがよいとされていましたが、飛沫感染予防の観点からは必要以上に大きな声で話さないことが良いとなってきました。
またマスクをして対面を避けて会話するといった事も、社会のマナーとなってきています。このあたりの考え方というのは、受けてきた教育や世代間の差、人それぞれの考え方というものもあり、一概にはどれが正しいとは言えません。
価値観が変わることを「パラダイムシフト」といいます。
これから始まる学校生活「パラダイムシフト」がかもしれません。
業の受け方、友達との接、掃除や給食と学校生活々な場面で、これまでのを見直すことも出てくるいます。
そこまでしなくても」っと徹底して」といった の相違の一つ一つについリスクを考えながら行動めていくことになるのでと思います。

PTA会長
感染予防の考え方としては、正しいかもしれませんが、今までの日本人の礼儀やマナーとしてはなかなか難しい問題も多いですね。
しかしながら感染のリスクは常にあるというのは動かし難い事実です。

鈴木校長
そうですね。私自身一番「昔人間」なので、あいさつは大きな声で、マスクをしたままするなんてとんでもないことと、思っていたものですから・・・（笑）
しかしながら、このような状況下になると考えさせられますね。
時代とともに、それに適応しながら生きていくことも必要ですね。
私は子供たちはいつも「守られる」ばかりの弱い存在ではなく、数年後には成人として社会を創っていく人だと思っています。
自分で自分の身を「守る」知識と行動力をつけていくことも、これからの生徒たちにとってはとても大切なことだと思います。

PTA会長
貴重なご意見をありがとうございました。
初めてのPTA会長でいきなり初めてのZOOMによる対談という事で、緊張しましたがいい経験になりました。

鈴木校長
ありがとうございました。

PTA会長
松井秀喜

子どもたちへメッセージ

コロナに負けない心と体。
吉本小の宝物はみなさんの笑顔です。
みなさんの笑顔、先生の笑顔、
お家の人の笑顔、地域の人の笑顔、
笑顔でいっぱいの吉本小をつくっていきましょう。

父兄の皆様へ

PTA会長の大役に任命され、とまどっております。コロナウィルスという過去に類を見ない状況下で、どのように学校生活を送っていけばいいか、不安な面も多々ありますが、先生・父兄の皆様と協力してこの困難を乗り越えたいと思います。

イメージサンプルです
掲載の事例は架空のものであり、登場する人名、団体名等は、実在の人物、団体と一切関係がありません。